

LESSON 25

ご提示いただいた新薬「グルコセブタン錠50mg」の全社説明会原稿を、記憶に残りやすく伝えるための「SUCCEsフレームワーク」の6つの要素を用いて評価します。

1. Simple（単純明快である）：△

- ・ 評価: 「新薬の承認取得と製品概要の共有」という説明会のメインメッセージは、冒頭の挨拶と最後のまとめで明確に示されています。
- ・ 改善点: 全社説明会ということで、営業や管理部門など専門外の社員も参加することが予想されますが、「GPR119受容体に選択的に作用」「内因性分泌を促進」「脾外組織への非特異的作用」など、作用機序の説明に専門用語が多く使われており、非専門職には少し難解に聞こえる可能性があります。

2. Unexpected（意外性がある）：△

- ・ 評価: 既存薬との明確な差別化ポイントとして「経口GPR119アゴニストというクラスの新規性」や、低血糖発現率が0.4%と極めて低いこと、さらに体重増加リスクが低いことが示されており、製品の強みとしての意外性（画期性）を持っています。
- ・ 改善点: 表現が淡々としているため、「既存の治療薬と比べてどれほど画期的で驚くべきことなのか」というインパクトが聴衆に伝わりにくい構成になっています。

3. Concrete（具体的である）：○

- ・ 評価: 非常に具体的な数値が使われており、理解しやすい内容です。1日1回の服薬、HbA1cの低下量（-0.82%）、体重変化（-1.2kg）、国内の推定患者数1,000万人超など、製品の特徴や市場規模が具体的なデータで示されています。

4. Credible（信頼性がある）：◎

- ・ 評価: この原稿で最も高く評価できるポイントです。第Ⅲ相国内臨床試験におけるプラセボ群との比較データ（ $p < 0.001$ の有意差など）や副作用の発生頻度が詳細に示されており、科学的根拠がしっかりしています。また、開発本部長自らが登壇して報告している点も、情報の信頼性を強く担保しています。

5. Emotional（感情に訴える）：×

- ・ 評価: 全体的に事実とデータの羅列になっており、聴衆の感情を動かす要素が不足しています。最後に「関係各部署への感謝」や「事業成長への貢献」が語られていますが、この新薬によって「患者さんの生活がどう良くなるのか」や「営業担当者がどれほど自信を持って現場に届けられるか」といった、社員のモチベーションに火をつける感情的なアピールが含まれていません。

6. Story（ストーリー性がある）：×

- ・ 評価: 補足資料として、2019年の化合物探索から2025年の承認取得に至るまでの約6年間の経緯が記載されています。
- ・ 改善点: 現状は単なる時系列の年表に留まっており、「開発中にどのような困難があり、チームがそれをどう乗り越えたのか」といったストーリーとして語られていません。ストーリーを原稿に組み込むことで、全社員の共感や新薬への愛着を深めることができます。

【総合評価まとめ】 この原稿は、科学的な事実やデータに基づく「具体性（Concrete）」と「信頼性（Credible）」が非常に高く、新薬の性能を伝える報告としては優れています。一方で、全社員の記憶に焼き付け、今後の販売に向けて士気を高めるためには、専門用語を少し噛み砕く「単純明快さ（Simple）」や、患者への貢献度や開発の苦労話などの「感情（Emotional）」と「ストーリー（Story）」の要素を補強すると、より魅力的なプレゼンテーションになるでしょう。

この評価内容を踏まえて、説明会の要点や視覚的な構成を整理したスライドデッキ（プレゼンテーション資料）を作成いたしましょうか？